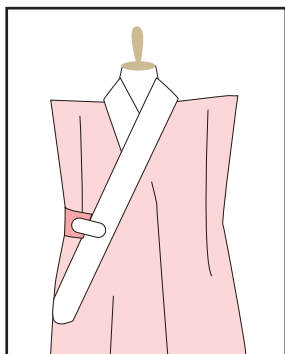
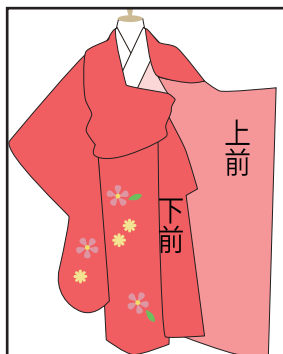


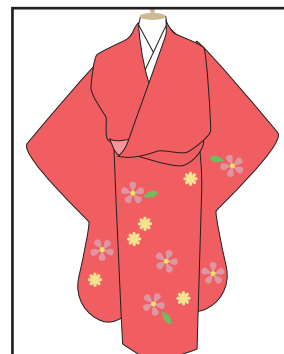
七五三 女の子 着付け方 四つ身タイプ



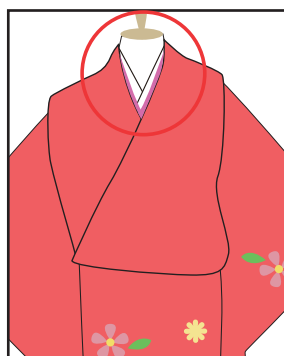
①長襦袢の衿を首に沿わせるように着せて、和装ベルトで締めます。(長襦袢は着物から見えないように着せます)



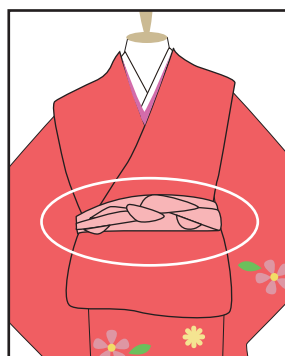
③着物を着せたら上前で着丈と身幅を決め、下前を巻き、上前を合わせ、腰ひもで締めます。裾は足の甲ずれずが良いでしょう。



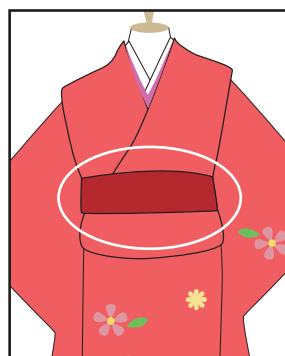
④腰ひもを締めた後、前と後ろの丈を整えます。



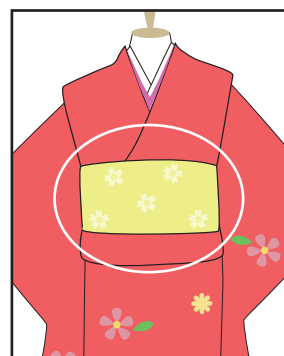
⑤半衿は1.5～2cmほど出すように衿を合わせて、おはしりを綺麗に合わせます。



⑥衿やおはしりを崩さないように腰ひもを締めます。結んで余った紐は入れ込みます。



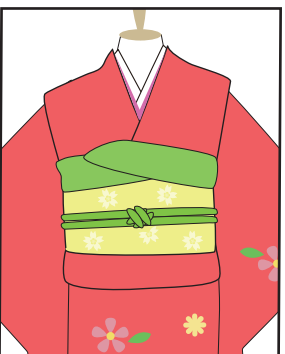
⑦余った布部分を、先ほど結んだ腰ひもにかけ、おはしりを調整し、伊達メめを巻きます。



⑧作り帯をつけます。帯を胸に巻き、ついている紐を前側で結び、帯の中に入れ込みます。



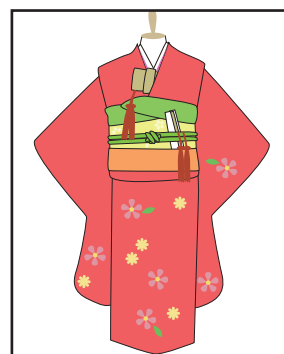
⑨帯に付いている「ヘラ」を帯と背中の中に差し込みます。ついている紐を前側で結びます。



⑩帯あけを仕上げ、帯締めは丸結びで締めます。



⑪しごきを巻き、帯の中央よりやや左側で蝶結びをします。



⑫箱迫（はこせこ）や扇子等を飾って完成です。